

質疑・討論

□ 令和元年第4回臨時会

(議案第103号)

令和元年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分(第3号)の専決処分の報告及び承認に関する議案

危険な土砂流入

対策をいそがないか

問 池沢議員

河川等災害復旧費町道東谷線(枝川・北浦地区)については、山の手から町道に土砂が流入したことから崩土除去費との説明だ。同じ場所への土砂流入が数年前にもあった。根本的な解決ができていないのか。

答 水田土木課長

県・町が連携して現地状況を十分把握・協議し対策

を図っていききたい。

(議案第104号)

いの町印鑑条例の一部を改正する条例

反対討論

池沢議員

条例議案は、機を逸することのないように定例議会へ提案すべきだ(委員会付託等により慎重に審議できる)。

※この条例の施行は令和元年11月5日。平成31年4月17日に通知されており、6月と9月の定例議会へ提案できていた。

課として条例提案の認識がないというのは、理解できない。

今後今回のような議案提案がなされないように議会の機能を十分理解して、町長はじめ町執行部、職員には、今一度緊張感を持ち、職務を遂行すべきと考え反対討論とする。

□ 令和元年第4回定例会

(議案第107号)

いの町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

問 山崎議員

常勤職員とフルタイムの会計年度任用職員の違いはどこにあるか。

答 土居総務課長

職務の内容や責任の程度で精査し、常勤職員と会計年度任用職員を配置する。職責については、会計年度任用職員は常勤職員より軽減される。

問 森田議員

正職員の人数、男女別の人数と割合は。
臨時職員の人数、男女別の人数と割合は。

臨時職員の雇用が多い部署と人数、男女別の人数、割合は。

答 土居総務課長

正職員486人。男性168人、34.6%、女性318人、65.4%。
臨時職員421人。男性85人、20.2%、女性336人、79.8%。
臨時職員の雇用が多い部署は教育委員会(保育士などを含む)。
臨時・非常勤職員282人。男性43人、15.2%、女性239人、84.8%。

財源は全額国費か

町の持ち出しはあるのか

問 池沢議員

①この条例による人件費の増額は、1億400万円とのことだが、財源はどうなるのか。国がしっかりと財源保障すべきだが、町の一般財源の持ち出しはあるのか。
②パートタイムの会計年度任用職員の社会保険はどう

なるのか。

答 土居総務課長

①財源は、地方交付税で措置するものと聞く。詳細は、まだ明らかになっておらず、町(一般財源)の負担割合は見えてない。
②一定の割合を超えると適用される。

問 井上(敏)議員

国土調査推進委員を委託として採用するとすれば、会計年度任用職員ではなく、請け負いということか。

答 土居総務課長

私人委託を視野に入れながら、会計年度任用職員が私人委託で実施していくかを検討している。
私人委託を採用した場合には、形式的には請け負いとなるのではないか。
実際の職としては、常勤